

令和7年度 第2回 福岡県環境審議会 議事要旨

1. 開会

環境部長あいさつ
審議会会長あいさつ

2. 議題

答申：廃棄物処理計画について

【伊藤洋委員長】

専門委員会の審議について説明

【事務局】

資料1を基に概要説明

【浅野直人会長】

海洋汚染の問題について、海岸清掃としか書いてないのが気になる。海岸の漂着ゴミは大陸側から来るだけでなく、川から来るものもかなりある。県として市町村と協力しながら河川の清掃を徹底するなど運用面で考えていただきたい。

【事務局】

ご意見を踏まえて検討する。

【森本美鈴委員】

59 ページに農業用廃プラスチックの適正処理の推進とあるが、海岸清掃をしてみると漁業関係のものが非常に多い。漁業組合への啓発が必要ではないか。

【事務局】

ご意見を踏まえて検討する。

【浅野直人会長】

他に意見が無いようであれば、今後パブリックコメントを実施し、いただいた意見を踏まえた修正の確認は、私に一任していただき、当審議会の答申としたいと考えるがよろしいか。

(異議なし)

諮問：令和8年度水質測定計画の策定について

【事務局】

資料2を基に概要説明

【林真実委員】

芦屋基地の井戸で PFOS が検出されたため継続調査を行っているとのことだが、原因は何か。

【事務局】

明確な原因究明には至っていない。芦屋基地と協議を行っているところである。

【浅野直人会長】

他に意見が無いようであれば、この諮問については専門性が高いため水質部会で議論を行い、部会の決議をもって当審議会の答申としたいと考えるがよろしいか。

(異議なし)

諮問：指定希少野生動植物種の指定について

【事務局】

資料3を基に概要説明

【浅野直人会長】

この諮問については専門性が高いため公園鳥獣部会で議論を行い、部会の決議をもって当審議会の答申としたいと考えるがよろしいか。

(異議なし)

諮問：福岡県環境総合ビジョンについて

【事務局】

資料4を基に概要説明

【後藤富和委員】

生物多様性戦略と環境総合ビジョンの関係について、環境総合ビジョンが上位計画となるのか。また、環境総合ビジョンの見直しを反映して、生物多様性戦略も見直しが行われるのか。

【事務局】

そのとおり。見直しは来年度同時期に行う予定である。

【浅野直人会長】

他に意見がないようであれば、この諮問については専門性が高いため専門委員会にて議論を行いたいと考えるがよろしいか。

(異議なし)

専門委員については会長が指名することになっている。事務局から配布する名簿の委員にお願いしたい。
なお、委員長は当審議会の会長である私が務める。

(異議なし)

諮問：福岡県地球温暖化対策実行計画について

【事務局】

資料5を基に概要説明

【浅野直人会長】

この諮問については専門性が高いため専門委員会にて議論を行いたいと考えるがよろしいか。

(異議なし)

専門委員については会長が指名することになっている。事務局から配布する名簿の委員にお願いしたい。
なお、委員長は当審議会の会長である私が務める。

(異議なし)

部会決議報告：温泉法に基づく動力の装置の許可申請について

【藤光康宏温泉部会長】

資料6について説明

部会決議報告：烏帽子島鳥獣保護区特別保護地区の指定について

【酒井かおり公園鳥獣部会長】

資料7について説明

その他の報告：令和7年版環境白書について

【事務局】

資料8を基に概要説明

【後藤富和委員】

家庭におけるエネルギー消費量の増加について、猛暑によるエアコン使用の増加が要因とのこと。人の命、健康には代えられないため、今後も積極的に使う必要があると思うが、目標を達成するためにどのような施策を考えておられるか。

【事務局】

エアコンの使用やデジタル化による電力消費により、これまでのようには減らないと考えている。太陽光のような再エネを推進し、二酸化炭素排出量が少ない発電方法を広く社会に普及する施策を進めている。

【酒井美和子委員】

5ページ「循環型社会の推進」の産業廃棄物最終処分量について、大規模工事によって今後も増えていくと想像している。その辺の考えについて伺いたい。

【事務局】

社会インフラの整備により産業廃棄物は増えてしまう。次期の廃棄物処理計画における目標設定では、排出量の増減率よりも最終処分量の増減率を抑える目標に変更している。廃棄物が増えた分、最終処分量が増えることがないように再利用やリサイクルを進めていく。

【森本美鈴委員】

108ページの「容器包装リサイクル法に基づく福岡県分別収集実施市町村の割合」について「紙製容器包装」と「白トレイ」の値が少ないのはなぜか。また、紙製容器包装はH21年からR6年で増えているが、白トレイは逆に減っている。その辺について教えていただきたい。

【事務局】

容器包装リサイクルの取組については、各市町村の取組を集計したもので、市町村の割合になっている。紙製容器包装については確かに少ないが、市町村の取組を増やしているところである。白トレイについては、プラスチック容器の回収方法を見直したものと聞いている。

その他の報告：博多湾の環境基準に係る類型指定について

【事務局】

資料9を基に概要説明

その他の報告：福岡県生物多様性戦略の改定について

【事務局】

資料10を基に概要説明

3. 閉会